

次期森林計画についての森林管理署の検討方向 (宮古八重山森林計画区)

— 目 次 —

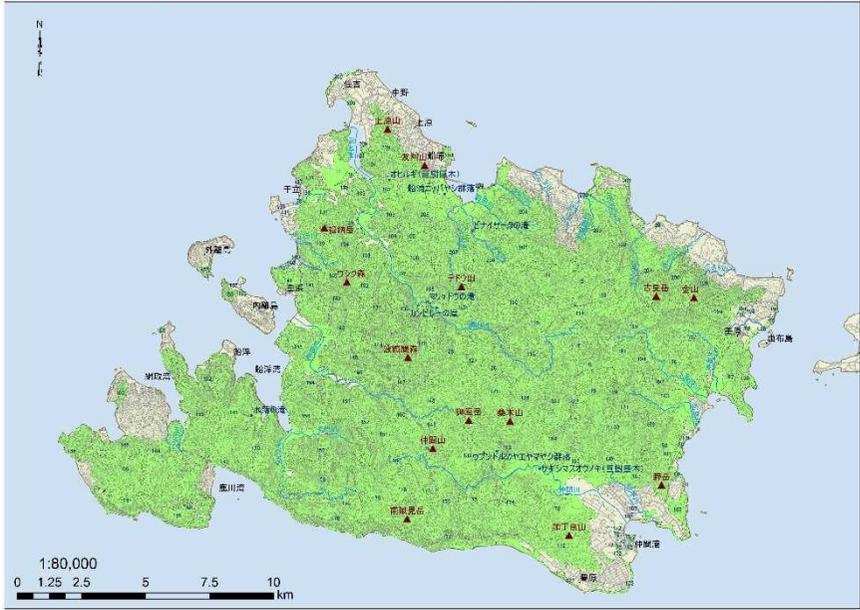
1. 現行計画の概要
 - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
 - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
 - (3) 国有林野の活用に関する事項
 - (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向(案)

沖縄森林管理署

1. 現行計画の概要(平成30年4月1日～令和5年3月31日)

宮古八重山森林計画区(国有林)

- ・ 宮古八重山森林計画の対象のうち、国有林野は25,006ha(不要存置林野359haを含む)であり、主に日本列島の最南西端に位置する八重山群島の西表島及び鳩間島等周辺の島々を含め竹富町全体面積の74%を占めています。このほか八重山群島の与那国島(与那国町)等にも国有林が散在しています。
- ・ 本地域には、イリオモテヤマネコ等の貴重な野生生物が生息し、国指定天然記念物の植物群落等が多数あり、西表・石垣国立公園に指定される他、令和3年7月に世界自然遺産地域に登録されるなど、希少野生生物や貴重な生態系が残っています。
- ・ 河川流域にはオヒルギ等のマングローブ林のほか、スダジイ、オキナワウラジロガシ等が生育し、森林レクリエーションや森林環境教育の場として多くの人に利用されています。



イリオモテヤマネコ

(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型に応じた管理経営

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (1, 453ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (22, 481ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (1ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (713ha)	水源の涵養の機能の発揮を重視 第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

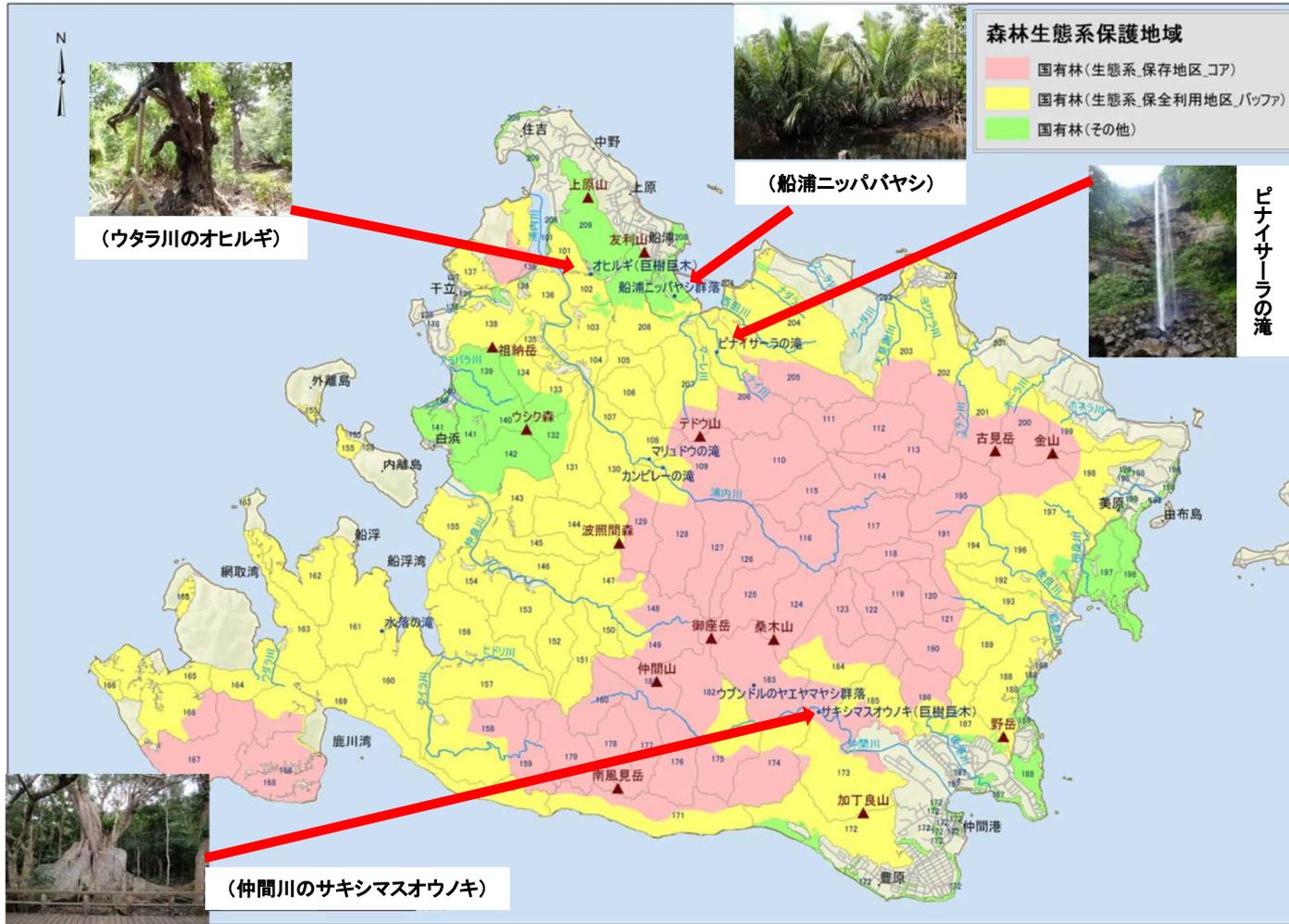
(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には亜熱帯特有の貴重な天然林等が多数存在しており、これらの森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護等のため保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
森林生態系保護地域	西表島	<p>西表島の国有林は、学術的にも非常に価値の高い森林を擁していることから、西表島の特異な森林生態系を後世に残すことを目的として、平成3年3月に森林生態系保護地域に設定しました。その後、状況の変化を踏まえ、区域を拡張しました。</p> <p>本地域はマングローブ林の外、スダジイやオキナワウラジロガシが主体の亜熱帯林で、原始的な天然林が相当程度まとまりを有した地域であり、植物群落全体の種の組み合わせは原生林に極めて近いとされています。</p>	<p>(保存地区) 9,999ha</p> <p>(保全利用地区) 12,367ha</p> <p>合計 22,366ha</p>
希少個体群保護林	船浦ニツパヤシ	<p>我が国唯一のニツパヤシ自生地である船浦のニツパヤシ群落は、昭和47年に国指定の天然記念物に、平成15年に林野庁の植物群落保護林に指定されました。</p> <p>ニツパヤシはヤシ科の1属1種で幹がなく葉が地面から生える雌雄同株のヤシであり、マングローブ林の後背地に育つため準マングローブ種とされています。</p>	4ha

森林生態系保護地域（保護林制度）



②国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開 保安林の公益的機能の維持増資

山腹工



生態系に配慮した工法等により工事を施工しています

水源涵養機能、保健文化機能、潮害防備機能等の公益的機能の維持増進に重点を置き、開かれた「国民の森」の実現に向けた取り組みを推進しています。



保安林機能PR看板

(3) 国有林野の活用に関する事項 <レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進>

優れた自然景観を有し、自然観察や野外活動等に適した森林を自然休養林として選定しています。

種類	名称	概要	面積 (ha)
自然休養林	西表 (浦内川地区) (仲間川地区) (ヒナイ川地区)	<p>河川流域にはマングローブ林、スタジイ、オキナワウラジログシなどの亜熱帯広葉樹が茂り、国指定特別天然記念物のイリオモテヤマネコやカムリワシが生息する地域で、浦内川や仲間川では、多くの観光客が観光船やカヌー及び歩道を利用して訪れています。また、ヒナイ川ではカヌーによる遊覧やピナイサーラの滝のツアー見学が主体となっています。</p> <p>なお、仲間川地区内の大富遊歩道沿いには亜熱帯樹木展示林が約10haあり自然観察などの場として利用されています。</p>	<p>浦内川地区 (1,013ha)</p> <p>仲間川地区 (640ha)</p> <p>ヒナイ川地区 (399ha)</p>



レクリエーションの森
 (西表自然休養林)

(4) 国民の参加による森林の整備に関する事項 ＜国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進＞

西表島の優れた景観を守るため、竹富町・地域住民・ボランティア団体等と連携し、海岸林等の清掃活動に取り組んでいます。

国際協力機構（JICA）の研修生と西表島エコツーリズム協会と一緒に海岸の漂着ゴミの清掃活動を行いました。（令和元年）



ホネラ海岸での清掃活動



台風及び季節風による漂流・漂着ゴミ

地元の小・中学生を対象に、職場体験学習への協力や森林環境教育へのフィールド提供等により、人材育成や森林環境教育に取り組んでいます。



職場体験学習への協力



森林環境教育へのフィールドの提供

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- ・ 国有林野が有する水源かん養機能や国土保全機能等の公益的機能の発揮を高めしていく必要があります。
- ・ 本計画区は令和3年7月に登録された奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産地域に含まれ、自然環境の維持と保全に努める必要があります。
- ・ 本計画区には、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコ、カンムリワシ等が生息することから、これら希少な生物の生息環境保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 本計画区には保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりへの関心が高まっていることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保護を行う方向です。
- ・亜熱帯特有の貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察などの利用を目的とするレクリエーションの森については、維持する方向です。
- ・絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコやカンムリワシ等が生息しており、生物多様性の保全を推進する観点から、生息や繁殖の環境に配慮した管理経営を行い、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。